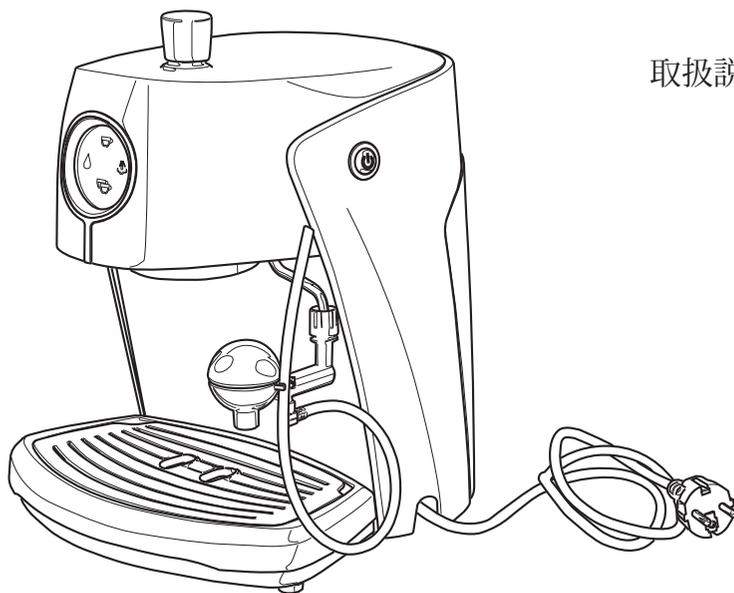


# nina

Bar



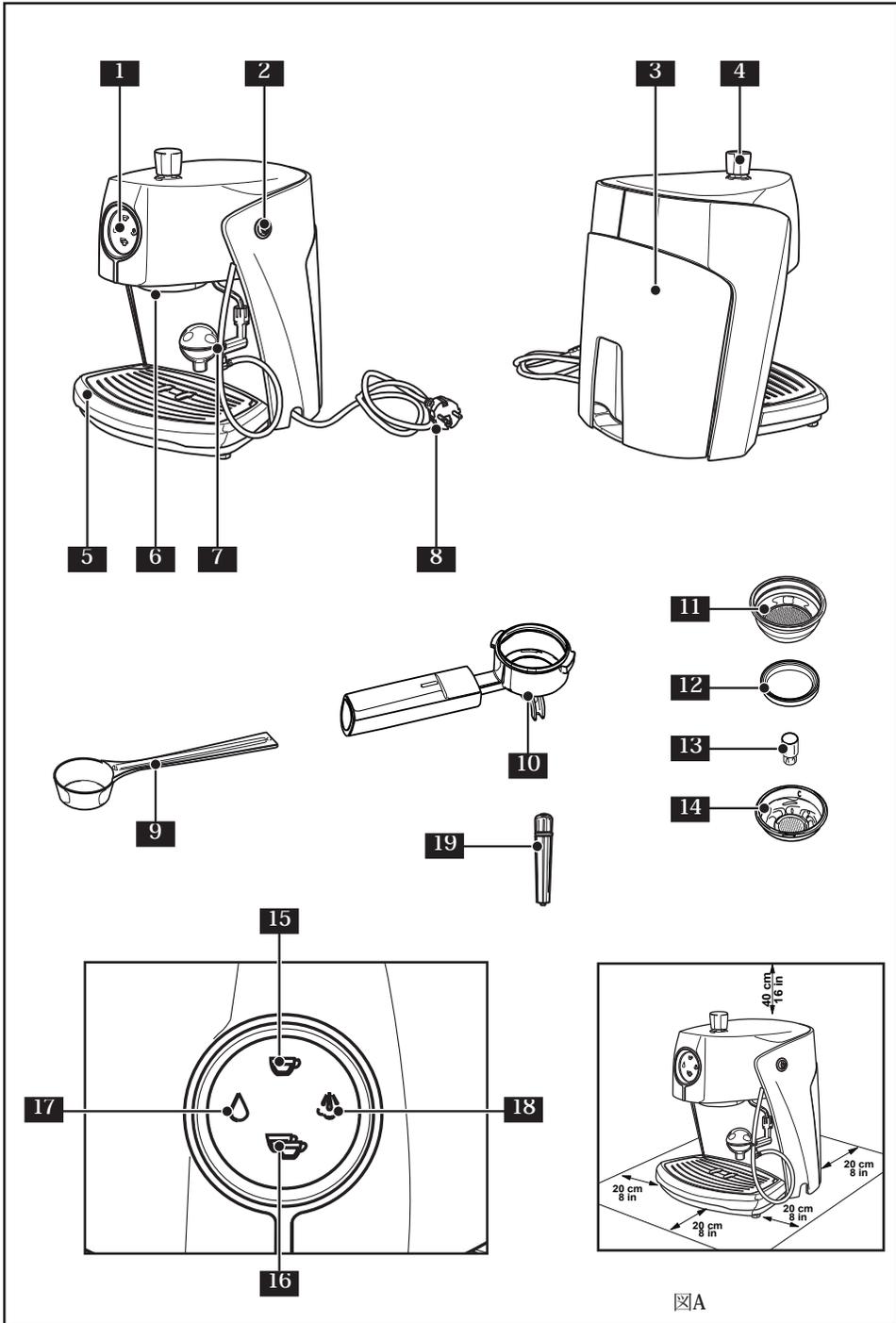
取扱説明書



本製品をご使用前に取扱説明書をよくお読みくださいますようお願い申し上げます。

**Ideas with Passion**

 **Saeco**



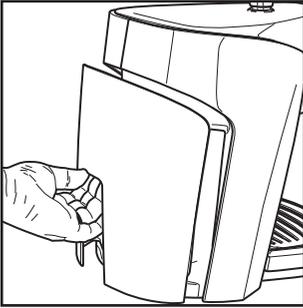


图1

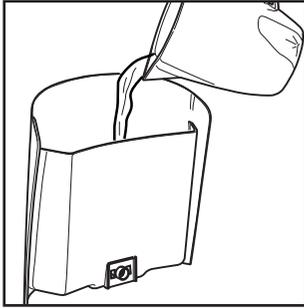


图2

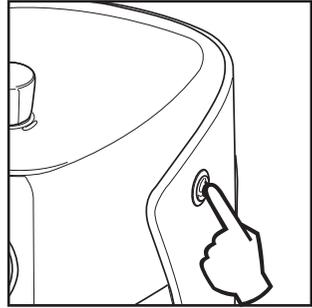


图3



图4

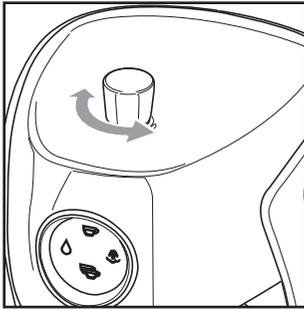


图5

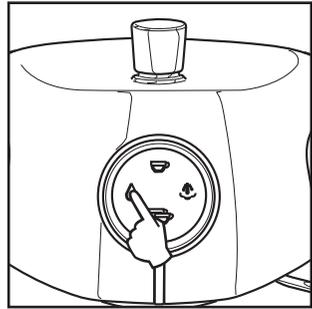


图6

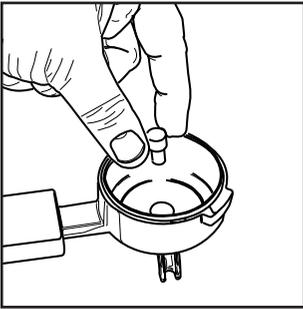


图7

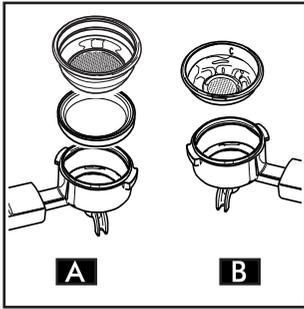


图8

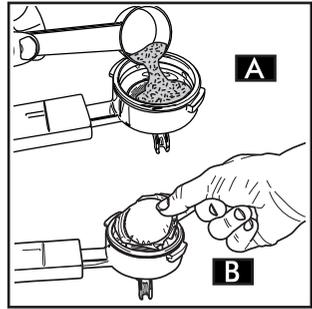


图9

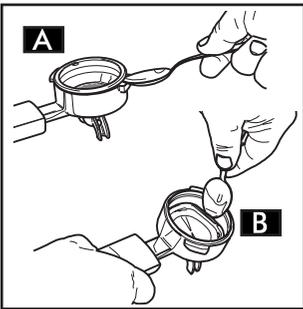


图10

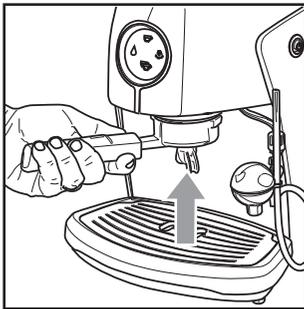


图11

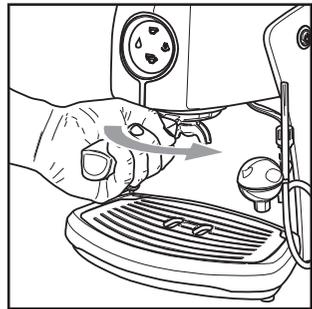


图12

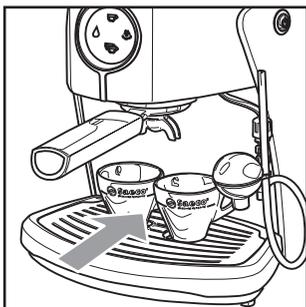


图13

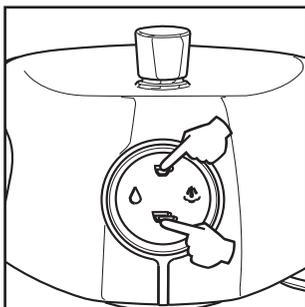


图14



图15

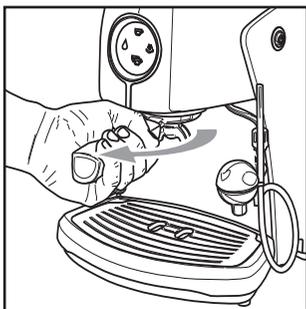


图16

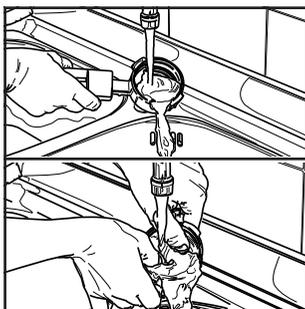


图17

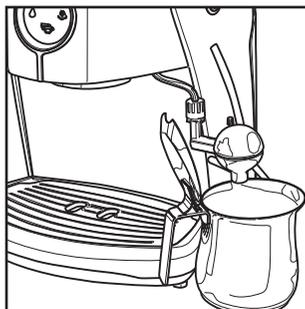


图18

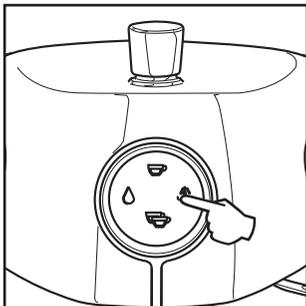


图19

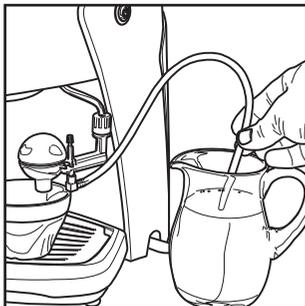


图20

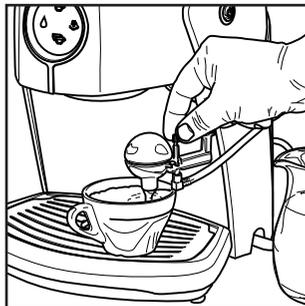


图21

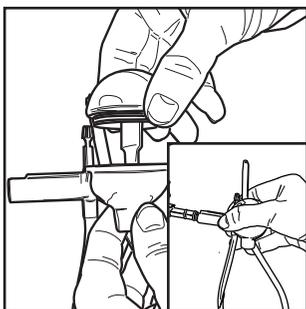


图22

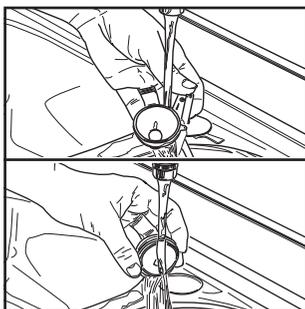


图23

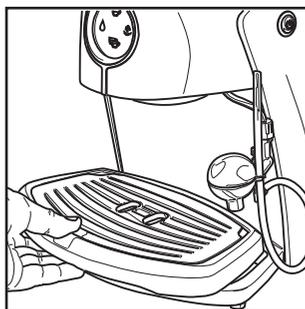


图24

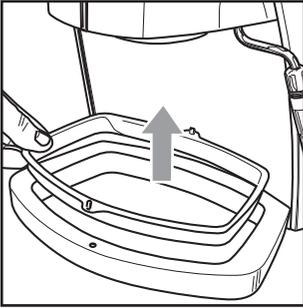


图25

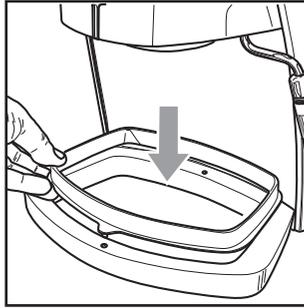


图26

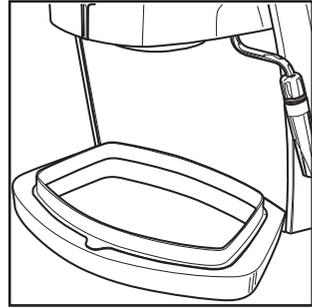


图27

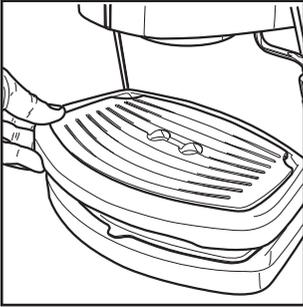


图28

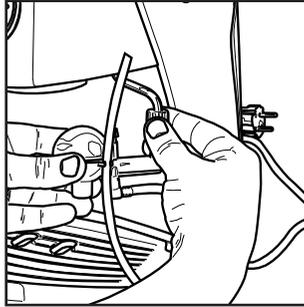


图29

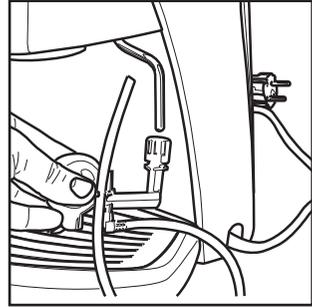


图30

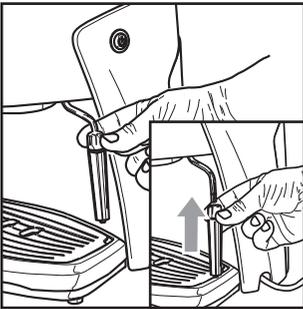


图31

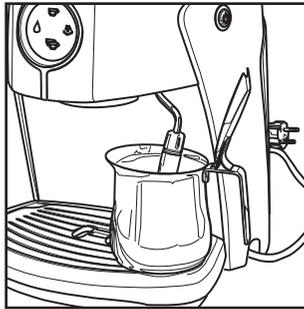


图32



图33

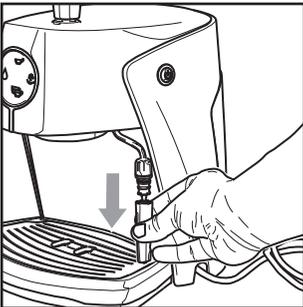


图34

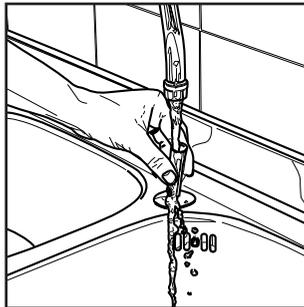


图35

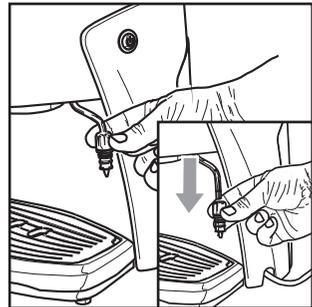


图36

## 1 一般的な情報

本製品は1杯または2杯のエスプレッソコーヒー抽出、またミルクを泡立てるためのスチームや給湯を供給するための製品です。製品正面のコントロールパネルは分かりやすいマークによって表示しています。

本製品はご家庭でのご使用のためにデザインされています。業務用製品として連続使用することには適しておりません。



**警告!** 弊社は以下に記載した原因による損害は責任を負いかねます。

- 本来の目的に反したご使用による場合。
- 修理が弊社指定のサービスセンターで行われなかった場合。
- 電源コードを改ざんされた場合。
- 本製品のどこかを改ざんされた場合。
- オリジナルではないスペアパーツや付属部品を使用された場合。
- 除石灰作業を行わなかった場合や、本製品を0℃以下の環境で使用、もしくは保管された場合。

これらの場合、保証は無効となりますので、あらかじめご了承ください。

### 1.1 安全上のご注意



三角形を用いたマークはお使いになる方の安全のために重要な情報を示しています。お客様の被害や損害を防ぐために、必ず従ってください。

マシンの一部やコントロールパネルなどのイラストを本取扱説明書の最初のページに記載しています。説明書本文に数字が記載されている場合は、その数字のイラストを参照してください。

**i** このマークは本製品のよりよいご使用のために、弊社が推奨する重要な情報を記載しています。

本文に記載した動作を説明するためのイラストを本取扱説明書の最初のページに掲載しています。取扱説明書を読む間に、まずこのページをご覧ください。

### 1.2 本取扱説明書のご使用方法

本取扱説明書は、すぐに取り出せるところに保管し、本製品をご使用になる全ての方がご覧になれるようにしておいてください。

また、ご不明な点は弊社の技術・流通センター (TEL: 050-5525-7025) までご連絡ください。

## 2 仕様

意匠、仕様など改良のために予告なく変更することがあります。

### 電源

本製品に貼付されているシールをご確認ください。

マシンボディ素材

プラスチック

サイズ(w x h x d)(mm)

270 x 350 x 300

重量

4 kg

コードの長さ

1.2 m

コントロールパネル

正面

フィルターホルダー

加圧型

パナレロ

特殊構造型

水タンク

1.5リットル - 取り外し可能

ポンプ圧

15気圧 (抽出時は9気圧)

ボイラー

ステンレススチール

安全装置

温度ヒューズ

### 3 安全規定



電源プラグを水に浸さないでください。回線がショートする恐れがあります。

またスチームとお湯の使用はヤケドをする恐れがあります。スチーム・給湯ノズルは身体などに向けしないでください。十分ご注意ください。

#### 使用目的

本製品はご購入いただいた国内でのみ、ご使用ください。

改造をしたり、不法な目的のためにマシンを使わないでください。心身ともに健康な成人によって、もしくはその方が監督者となってご使用ください。

#### 電源

本製品は「15A 125V」と記された壁面のコンセントから直接お取りください。また電源は交流100Vをご使用ください。

#### 電源コード

電源コードに損傷がある場合は本製品を使用しないでください。万が一、損傷した場合は弊社技術・流通センターへご連絡の上、新しいものをご購入ください。

電源コードは、鋭角な角や何か尖ったものに当たらないように、また熱源や油の近くでは使用しないでください。

電源プラグを抜くときはコードを持たずにプラグを持って引き抜いてください。また差し込む時は根元までしっかりと差し込んでください。それらは濡れた手では決して行わないでください。電源コードをテーブルまたは棚から垂らすことのないようにしてください。

#### 子供の使用

子供など、取扱いに慣れていない人だけで使用したり、乳幼児などの手の届くところで使用しないでください。

#### ヤケドの危険

ご自身や、または他の方にスチーム・給湯ノズルを向けしないでください。また向きを変えるときは常に黒いプラスチックの部分を持ち、操作してください。

コーヒーを抽出中にフィルターホルダーを外さないでください。

お湯がフィルターホルダーから噴出する恐れがあります。

#### 設置場所

本製品は平らで安定した場所、誰も倒す心配のない場所に置いてください。

お湯やスチームの使用時にはヤケドをする恐れがあります。十分ご注意ください、ご使用ください。

本製品を0℃以下の場所に保管をしないでください。製品内部に残っている水が凍結し、破損する恐れがあります。

屋外では本製品を使用しないでください。

本製品は高温ガス、電気コンロの上や近く、熱したオープンなどの近くには置かないでください。

#### クリーニング

本製品をクリーニングする場合は、必ず電源をOFFにし、またコンセントから電源コードを外してください。その後、製品が冷めてから行ってください。

またマシンを水に浸けたり、水をかけないようにしてください。

製品の分解・改造は絶対にしないでください。

水タンクに数日間溜まった水は使用しないでください。ご使用後は毎日水タンクを洗って乾かし、使用する日ごとに新鮮な飲料水を入れてください。

#### 設置スペース

本製品が適切に効率的に作動するために、以下の記載に従ってください。

- ・ 平らな場所を選んで置いてください。
- ・ 万が一の場合に、すぐにコンセントに手が届き、埃が溜まりにくい場所に置いてください。
- ・ 図Aの記載のとおり、マシンの側面・背面からスペースをお取りください。

#### マシンの保管

本製品を長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから外してください。

外した電源コードは塵や埃から保護した上で、子供の手の届かない乾燥した場所で保管してください。

#### 修理 / メンテナンス

もし本製品に故障や破損、または落下後に破損が予想される場合は直ちに電源プラグをソケットから外してください。故障した製品は絶対に使用しないでください。

また修理は弊社指定のサービスセンター、もしくは弊社技術・流通センターにて承ります。それ以外で修理が行われた場合、いかなる不具合が起きても弊社は損害賠償には一切応じかねます。

#### 火災の場合

万が一、火災が起きた場合には二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)消火器をご使用ください。水や粉末の消火器を使用しないでください。

## 各部の名称(2ページ参照)

- 1 コントロールパネル
- 2 電源ボタン
- 3 水タンク
- 4 スチーム・給湯ノブ
- 5 ドリップトレイ&目皿
- 6 コーヒー抽出口
- 7 カプチナトーレ
- 8 電源コード
- 9 粉末コーヒー用スプーン
- 10 フィルターホルダー
- 11 粉末用フィルター (1杯分/2杯分併用)
- 12 ラバースペーサー
- 13 抽出ピン
- 14 ポッドコーヒー用フィルター
- 15 一杯用コーヒーボタン
- 16 二杯用コーヒーボタン
- 17 給湯ボタン
- 18 スチームボタン
- 19 パナレロ

## 4 設置

ご使用になる方と他の方々の安全のために、項目3に記載している「安全規程」に従ってください。

### 4.1 梱包

オリジナルの梱包資材は、輸送の最中に製品を保護するために制作しています。修理依頼などのために梱包資材を保管しておくことをお勧めします。

### 4.2 設置の手順

本製品を設置する前に、下記の安全に関する取扱説明をよくお読みください。

- ・マシンを安全な場所に置いてください。
- ・子供が本製品で遊ぶことのないようご注意ください。
- ・マシンを熱源、または火の近くに置かないでください。

製品を電源と接続する準備が整いました。

**i** **注意:** 製品を初めて使用する場合、また一定期間使用されなかった場合は各部品を洗浄してからご使用ください。

## 4.3 製品の接続

 電力使用は危険を伴います。安全規則に従ってください。

損傷した電源コードは絶対に使わないで下さい。万が一、損傷した場合は速やかに弊社指定のサービスセンター、弊社技術・流通センターで取り替えてください。

製品の電圧はメーカーによって、あらかじめ設定されています。電圧が製品の底にあるシールと一致していることを確認してください。

- ・製品を電源と接続する前に、電源ボタンが必ずOFFであることを確認してください。
- ・電源は「15A 125V」と記載(刻印)されている壁面のコンセントから直接お取りください。

## 4.4 水タンク

- ・(図1) - 水タンク(3)を取り外してください。
- ・(図2) - 水タンクをすすぎ、新鮮な飲料水を入れます。(MAX: 緑から2cm程度下まで)
- ・(図1) - 元の場所にセットしてください。

 水タンクには新鮮な飲料水を入れてください(発泡水は入れないでください)。お湯など、その他の液体は決して入れないでください。また水タンクが空の状態では製品の電源を入れしないでください: 水タンクの中に十分な水があるのを確認してください。

## 4.5 空気抜き

長期間、製品を使用しなかった場合やスチームを使用した後、製品を再始動させるために必要な作業です。この時、コントロールパネルにある4つのボタンが同時に点滅します。

- ・(図3) - 電源ボタン(2)を押してください。コントロールパネルにある4つのボタンが点滅を始めます。
- ・(図4) - カプチナトーレの下に何か容器を置きます。
- ・(図5) - スチーム・給湯ノブ(4)を左に回してノブを開いてください。
- ・(図6) - 給湯ボタン(17)を押します。
- ・水の排出が止まるまで、お待ちください。
- ・スチーム・給湯ノブ(4)を右に回してノブを閉じてください。

**i** 最初の空気抜き作業が終わった後に、製品はウォーミングアップを始めます。コーヒー、水、もしくはスチームを使用する前に二つのコーヒーボタン(15)と(16)が点灯するまで、お待ちください。

製品は動作準備ができました。続けてコーヒー抽出など、関連した項目をご覧ください。

**i** 注意: 空気抜き作業が完全に終了しなかった場合、4つのボタンは点灯し続け、製品を使用することができません。

#### 4.6 ドリップトレイの高さ調節

ドリップトレイはカップサイズによって調節することができます。

ドリップトレイの高さ調節をするためには、次の通り行ってください。

- (図24) - ドリップトレイを取り外して、目皿を外します。
- (図25) - ドリップトレイの下のサポートを製品から取り外します。
- (図26 - 27) - サポートをひっくり返し、製品の土台に差し込みます。
- (図28) - ドリップトレイをサポートの上に置き、目皿を乗せてください。

#### 5 コーヒー抽出

**!** 警告! コーヒー抽出の最中、フィルターホルダーを左に回さないでください。脱落してヤケドをする可能性があります。

- この操作の間に、二つのコーヒーボタン(15 - 16)は点滅することがあります。; これは故障ではなく正常な状態です。
- 製品を使用する前にスチーム・給湯ノブ(4)が閉まっており、水タンクの中に十分な水があることを確認してください。
- (図3) - 電源ボタン(2)を押します。
- 二つのコーヒーボタン(15-16)が常に点灯するまでお待ちください。  
点灯: コーヒー抽出の準備ができました。

#### 5.1 粉末コーヒーから抽出する

- (図7) - 抽出ピン(13)をフィルターホルダー(10)の穴に挿してください。
- (図8A) - ラバースペーサー(12)をフィルターホルダー(10)にはめ込み、そして粉末用フィルター(11)をセットしてください。
- (図11) - コーヒー抽出部(6)にフィルターホルダーをはめてください。

- (図12) - フィルターホルダーをこれ以上回らないところまで、左から右へ回してください。(持手は、ほぼ前面にきます)
- (図14) - 少量の水がフィルターホルダーから出てくるまで、コーヒーボタン (15)を押してください。こうすることによりフィルターホルダーを温めます。最初にコーヒー抽出する際には、この作業を行うことをお勧めします。
- お湯の抽出は自動的に止まります。
- (図16) - フィルターホルダーを右から左に回して、マシンから外してください。そしてフィルターホルダーに残った水を捨てます。コーヒー抽出のために、粉末用フィルター(11)を交換する必要はありません。
- (図9A) - 一杯のエスプレッソ(コーヒー)のためには、付属の粉末コーヒー用スプーンで1~ 1.5杯、2杯のエスプレッソ(コーヒー)のためには、2杯分の粉末コーヒーを入れます。フィルターの外縁についたコーヒーはきれいに拭き取ってください。
- (図11) - 抽出部(6)へフィルターホルダーを(10)をはめてください。
- (図12) - フィルターホルダーをこれ以上回らないところまで、左から右へ回してください。(持手は、ほぼ前面にきます)
- (図13) - あらかじめ、温めておいた1つもしくは、2つのカップをフィルターホルダーの下に置きます。カップが抽出穴の下に正しく置かれていることを確認してください。
- (図14) - コーヒーボタンを押します。
  - 1杯抽出するとき: 一杯用コーヒーボタン(15)
  - 2杯抽出するとき: 二杯用コーヒーボタン(16)。
- コーヒーはあらかじめ設定された量が抽出されると自動的に止まります。コーヒーカップを外します。(図15)。
- (図16) - フィルターホルダーを左に回して取り外し、コーヒーカスを空にしてください。

**i** 注意: 少量の水がフィルターホルダーに溜まっている場合があります。; これは故障ではなく正常な状態です。

**i** 注意 クリーニングのために: フィルターホルダーをマシンから取り外し、飲料水(図17)で洗います。フィルターホルダーと ラバースペーサー、抽出ピン、粉末用フィルターをきれいに水洗いしてください。

#### 5.2 ボッドコーヒーから抽出する

- (図10) - コーヒースプーンを使って、フィルターホルダー(10)の中の粉末用フィルター(11)とラバースペーサー(12)を取り外します。
- (図7) - 抽出ピン(13)をフィルターホルダー(10)から抜きます。  
注意: 小さな部品ですので、紛失しないように注意してください。
- (図8B) - ボッド用のフィルター(14)をフィルターホルダー(10)にセットします。

- ・(図11) - 抽出部(6)へフィルターホルダーをはめてください。
- ・(図12) - フィルターホルダーをこれ以上回らないところまで、左から右へ回してください。(持ち手は、ほぼ前面にきます)
- ・(図14) - 少量の水がフィルターホルダーから出てくるまで、コーヒーボタン (15) を押してください。こうすることによりフィルターホルダーを温めます。最初にコーヒー抽出する際には、この作業を行うことをお勧めします。
- ・お湯の抽出は自動的に止まります。
- ・(図16) - フィルターホルダーを右から左に回して、マシンから外してください。そしてフィルターホルダーに残った水を捨てます。コーヒー抽出のために、ポッド用フィルター(11)を必要交換するはありません。
- ・(図9B) - ポッドコーヒーをフィルターホルダーに置き、ポッドコーヒーの紙がフィルター内にきちんと収まっていることを確認してください。
- ・(図11) - 抽出部(6)へフィルターホルダーを(10)をはめてください。
- ・(図12) - フィルターホルダーをこれ以上回らないところまで、左から右へ回してください。(持ち手は、ほぼ前面にきます)
- ・あらかじめ温めておいた1つのカップをフィルターホルダーの下へ置きます。；それが抽出穴の下に正しく置かれていることを確認してください。
- ・(図14) - 一杯用コーヒーボタン(15)を押します。
- ・コーヒーはあらかじめ設定された量が抽出されると自動的に止まります。コーヒーカップを外します。(図15)。
- ・(図16) - 抽出し終わってから数秒待つて、フィルターホルダーを左に回して取り出し、使用済のポッドコーヒーを捨ててください。

**注意** クリーニング: フィルターホルダーをマシンから取り出し、飲料水(図17)で洗います。フィルターホルダーとポッド用フィルターをきれいに水洗いしてください。

### 5.3 コーヒー抽出量の設定

コーヒーボタン(15)または(16)を押すことによって、二つのボタンにそれぞれ抽出するコーヒー量を設定することができます。

**注意** コーヒー抽出量は一杯用コーヒーボタン(15)によって設定します。(最低量: 25cc~最高: 180cc)。

二杯用コーヒーボタン(16)は、一杯用コーヒーボタン(15)によってあらかじめ設定された2倍の量を自動的に抽出します。

- ・抽出量を設定するために、項目5.1と5.2の記載のとおり、粉末コーヒーもしくはポッドコーヒーをフィルターホルダーに入れてください。
- ・フィルターホルダーの下にカップを置きます。

- ・(図14) - 一杯用コーヒーボタン(15)を押し続けてください。3秒後、マシンはコーヒーを入れ始めます。その間も押し続けます。
- ・お好みのコーヒーが抽出されたら、一杯用コーヒーボタン(15)から指を離してください。

設定が完了しました。今後、製品は設定と同じ量を抽出します:

- ・一杯用コーヒーボタン(15): あらかじめ設定した抽出量。
- ・二杯用コーヒーボタン(16): 設定した2倍の抽出量。

## 6 コーヒーを選ぶために

本製品は一般に入手可能な様々なコーヒーを使用することが可能です。コーヒーは生産地やブレンドによって風味の変化があります。より、お客様好みの風味を見つけていただくために、様々なコーヒーを試されることをお勧めします。

但し、一般的にはエスプレッソマシン用のブレンドが最適です。コーヒーはフィルターホルダーの上から漏れることなく、抽出穴から抽出しなければなりません。抽出のスピードはコーヒー量や挽き粗さを変えることによって修正することができます。

Saecoはおいしいコーヒーのために、また、より簡単な抽出準備とクリーニングのために、ESE (Easy Serving Espresso) とマークされたコーヒーポッドのご利用をお勧めいたします。



**注意** スチーム・給湯ノズル(パナレロ)やカプチナトールを使用する前に、それぞれの先がドリフトトレイに向いていることを確認してください。

## 7 給湯

**注意** ヤケドの危険! スチーム・給湯ノズルからお湯が出始めるときに、少量の湯が噴出することがあります。ノズルの近くに手などを置かないでください。

- ・(図3) - 電源ボタン(2)を押します。
- ・コーヒーボタン(15 - 16)が点灯するまで、お待ちください。点灯: 準備が完了しました。
- ・(図18) - カプチナトールの下に容器またはコーヒーカップを置きます。
- ・(図5) - スチーム・給湯ノブ(4)を左に回して開いてください。
- ・(図6) - 給湯ボタン(17)を押します。
- ・お好みの量が出てきたら、もう一度給湯ボタン

- (17)を押して止めます。
- ・(図5) - スチーム・給湯ノブ(4)を閉じます。
- ・お湯の入った容器もしくはカップを外します。

**i** コーヒーボタン(15)または(16)を押すと、製品は項目5.3で設定した量と同じ量を抽出します。

## 8 スチーム/カプチーノ

**!** ヤケドの危険! スチーム・給湯ノズルからスチームが始めるときに、少量の湯が噴出することがあります。ノズルの近くに手などを置かないでください。

- ・(図3) - 電源ボタン(2)を押します。
- ・コーヒーボタン(15 - 16)が点灯するまでお待ちください。
- ・(図19) - スチームボタン(18)を押します。
- ・スチームボタン(18)が点灯するまでお待ちください。  
点灯: スチームを使用する準備ができました。
- ・(図18) - カプチナトールの下に何か容器を置きます。
- ・(図5) - スチーム・給湯ノブ(4)を開き、製品内部に残っている水分をカプチナトールから出します。スチームのみが安定して出てくるまで行ってください。
- ・スチーム・給湯ノブ(4)を閉じて、容器を取り外します。

**i** より良いミルクフォームのために、冷たいミルクを使用されることをお勧めします。

- ・(図20) - ミルクチューブをミルクの液面に深く差し込んでください。
- ・カプチナトールの下にカップを置きます。
- ・(図5) - スチーム・給湯ノブ(4)を左に回してノブを開いてください。

**i** スチームの連続使用は60秒程度をお勧めします。

- ・(図21) - ミルクフォームの泡立ちを調整するために調節ピンを上下に回してください。  
調節ピンはゆっくり動かした方が効果的です。
- ・スチーム・給湯ノブ(4)を閉じ、ミルクフォームの入ったカップを外します。

カプチーノを使用した後、新鮮な飲料水が入った容器の中にミルクチューブを差込み、スチームを噴出させてください。きれいな水が排出されたらカプチナトールの洗浄は終了です。湿らせた布巾でミルクチューブの外側をきれいに拭いてください。

**i** カプチナトールは取り外して、1週間に一度は分解洗浄してください。

- ・(図19) - 再度スチームボタン(18)を押します。
- ・項目4.5の記載のとおり、空気抜きの作業をしてください。

**i** 注意: コーヒーボタン(15と16)が点灯している場合は、製品の準備は完了しています。

**i** 注意: 上記記載のとおりにかプチーノをいれることができれば、項目4.5の空気抜き作業を行ってから再度行ってください。

**i** 上記と同じ操作で、その他の飲み物を温めることもできます。

## 9 スチーム・給湯ノズル(パナレロ)

スチーム・給湯ノズルはお湯を抽出したり、ミルクフォームを泡立てるために使用します。

スチーム・給湯ノズル(図29-30)を装着する前に、カプチナトールを取り外してください:

- カプチナトール上部のネジを外さないように緩めてください。
- カプチナトールをネジごと引き抜きます。

スチーム・給湯ノズル(図31)を装着します:

- スチーム・給湯ノズルを金属のL字上まできちんと差し込んでください。
- 上部のネジを締めてください。

(図32) - (図33) - 給湯、またはスチームを使用するために項目7と8の記載の通り、準備をします。

(図34) - (図35) - スチーム・給湯ノズルを使用後は、製品が十分冷めてからスチーム・給湯ノズルを取り外し、ぬるま湯で洗ってください。

(図36) - 一週間に一度は、スチーム・給湯ノズル全体を取り外し、分解してぬるま湯で洗ってください。

## 10 クリーニング

クリーニングを行う場合は必ず電源プラグを抜き、マシンが冷えてから行ってください。

- ・マシンを水に浸したり、各部品を食器洗い機で洗浄しないでください。
- ・アルコールや溶剤、および/または塩素などが入った洗剤は使用しないでください。
- ・水タンクは毎日水洗いをして乾燥させ、使用する日ごとに新鮮な飲料水を入れることをお勧めします。
- ・(図20) - ミルクを泡立てた後は少量の湯を出し、内部のミルク成分を洗い流してください。

**!** 危険! カプチナトールを取り外したときは、絶対にスチームを使用しないでください。

- ・(図22-23) - カプチナトーレは引き抜いて、1週間一度は分解洗浄してください。
  - カプチナトーレを製品本体から引き抜きます。
  - カプチナトーレを真中から分解してください。
  - ぬるま湯によってカプチナトーレの各部品を洗います。特に内部から汚れが取り除かれたことを確認してください。
  - ミルクチューブも内側に湯を通し、洗います。
  - 洗浄が終わったらカプチナトーレを組み立てます。
  - カプチナトーレを、製品本体に装着してください。完全に奥まで差し込まれたことを確認します。
- ・(図24) - ドリップトレイは毎日空にして水洗いしてください。
- ・湿らせた柔らかい布巾で製品を拭いてください。
- ・(図17) - フィルターホルダーを洗浄するために次の作業をしてください。：
  - (図10) - フィルターを取り除き、お湯で洗ってください。
  - (図10) - ラバースペーサーを取り除き、お湯で洗ってください。
  - 調節ピンを外して、お湯で洗ってください。
  - フィルターホルダーの内側をよく洗ってください。
- ・電子レンジやオープンなどで、マシンおよび各部品を乾燥させないでください。

**i** 注意：フィルターホルダーは食器洗い機では決して洗わないでください。

## 11 除石灰

長期間ご使用されると製品内部に石灰成分が付着します。これを放置するとマシン内部が詰まり故障の原因となりますので、3、4ヶ月ごと、もしくはコーヒー抽出の線が細くなったら必ず行ってください。

**i** この作業を行うための除石灰剤としてサエコデカルリキッドをお勧めします。

**!** 警告！ 除石灰剤として、絶対に酢は使わないでください。

- ・(図1) - 水タンクを取り外して、一度空にします。
- ・(図2) - 除石灰剤を水タンクに入れます。その上から飲料水を入れてください(水タンクの縁から2cm程度まで)。水タンクを本体にセットします。
- ・(図3) - 電源ボタン(2)を押して、製品の電源をONにします。
- ・二つのコーヒーボタン(15 - 16)が点灯するまでお待ちください。
- ・(図29 - 30) - カプチナトーレを取り外します。
  - カプチナトーレの上部のネジを外さないように緩めてください。
  - カプチナトーレをネジごと引き抜きます。

- ・スチーム・給湯ノズルの下に何か容器を置きます。
- ・スチーム・給湯ノブ(4)を開き、二杯用のコーヒーボタン(17)を押してカップ一杯程度のお湯(除石灰剤)を排出します。お湯(除石灰剤)の排出を停止するためにコーヒーボタン(17)を押し、スチーム・給湯ノブ(4)を閉じてください。
- ・(図3) - 除石灰剤をより効果的にするために、お湯(除石灰剤)の排出の間隔を約10-15分あけ、排出しないときは電源ボタン(2)を押して電源をOFFにしてください。これを水タンクが空になるまで行ってください。
- ・(図1-2) - 除石灰剤がなくなったら、水タンクを取り外して飲料水でよくすすぎ、新鮮な飲料水を入れてください。
- ・(図1) - 水タンクをマシンに再度セットしてください。
- ・(図3:図5) - 製品内部をすすぐためにスチーム・給湯ノブ(4)を開き、水タンク2/3杯程度の水を排出します。二杯用コーヒーボタン(17)を押してください。排出を止めるために、コーヒーボタン(17)を押してスチーム・給湯ノブ(4)を閉じます。
- ・上記記載のとおり、マシンを温め、水タンクを空にしてください。
- ・再度カプチナトーレを製品に装着します。
  - カプチナトーレを金属のノズルのL字の上まできちんと差し込みます。
  - 上部のネジをきちんと締めてください。

**i** もし他社製品の除石灰剤を使用される場合は、そのメーカーの指示に従ってください。

## 12 廃棄

- ・今後、製品を使用しない場合は廃棄することをお勧めします。
- ・電源プラグをソケットから抜いて、電源コードを切断してください。
- ・製品は適当な廃棄業者に廃棄を依頼してください。

この製品はEU指令2002/96/ECに適合していません。



製品や包装箱についているマーク  は、この製品が家庭用廃棄物として処理できないかもしれないことを示しています。代わりに電気、電子機器のリサイクルのための適切なゴミ集積場へ引き渡されることになります。この製品を正しく廃棄することは、不適切な廃棄処理によってもたらされる環境と人の健康に対する悪影響を予防することになります。本製品に対するさらに詳しいリサイクル情報については、地域の市役所、ゴミ処理業者あるいは製品を購入した店舗へお問合せください。

症状	原因	改善策
電源が入らない。	製品が電源に接続されていません。	電源プラグを製品に接続してください。
ポンプ（抽出音）が異常にうるさい。	水タンクに水がありません。	水タンクに水を入れてください。（項目4.4）
全てのボタンが点滅している。	空気抜き作業が必要です。	空気抜きを行ってください。（項目4.5）
コーヒーがぬるい。	フィルターホルダーが温まっています。（項目5）	あらかじめフィルターホルダーを温めてください。
	カップが冷えている。	あらかじめカップをお湯で温めてください。
ミルクが泡立てられない。 カプチーノの準備ができない。	製品にあったミルクではない：粉末ミルクや低脂肪ミルクなど。	生乳100%（成分無調整）の牛乳を使用してください。
	カプチナトーレが汚れている。	項目9の記載のとおり、カプチナトーレを洗浄してください。
	製品内部のボイラーにスチームがない。	空気抜き（項目4.5）をし、項目8の操作を繰り返してください。
コーヒー抽出が異常に早い。クレマができない。	フィルターホルダー内のコーヒーが少なすぎる。	粉末コーヒーの量を少し追加してください。（項目5）
	コーヒーの挽き粗さが粗い。	違うブレンドを試してみてください。（項目6）
	コーヒーが古いなど、適切ではない。	違うブレンドを試してみてください。（項目6）
	ポッドコーヒーが古いなど、適切ではない。	ポッドコーヒーの種類を変えてみてください。
	フィルターホルダーの部品が一つ不足している。	全ての部品がきちんと組み立てられ、製品に装着されていることを確認してください。
コーヒーが抽出されない。もしくはポタポタとしか出てこない。	水タンクに水がない。	水タンクに水を補充してください。（項目4.4）
	コーヒーの挽き粗さが細かすぎる。	違うブレンドを試してみてください。（項目6）
	フィルターホルダー内のコーヒーが固まりすぎている。	粉末コーヒーを詰めなおしてください。
	フィルターホルダー内のコーヒーが多すぎる。	フィルターホルダー内のコーヒーを減らしてください。
	スチーム・給湯ノブ（4）が開いている。	スチーム・給湯ノブ（4）を閉じてください。
	石灰成分が詰まっている。	マシンの除石灰を行ってください。（項目10）
	フィルターが詰まっている。	フィルターを洗浄してください。（項目9）
	ポッドコーヒーが適切ではない。	ポッドコーヒーの種類を変えてみてください。
コーヒーがフィルターホルダーの縁から漏れる。	フィルターホルダーがきちんと抽出部にはまっていない。	フィルターホルダーを正しく装着してください。（項目5）
	フィルターホルダーの上メッシュが汚れている。	フィルターホルダーの縁をきれいに拭いてください。
	ボイラーのガスケットが汚れているか、熱くなっている。	ガスケットを洗浄してください。
	ポッドコーヒーが誤ってセットされている。	ポッドコーヒーをフィルターホルダーからはみ出すことのないように、正しく入れてください。
	フィルターホルダー内のコーヒーが多すぎる。	粉末コーヒーの量を減らしてください。

上記記載のとおりに行っても解決されなかったり、何か他の問題が起こった場合には、弊社技術・流通センター（TEL:050-5525-7025）へご連絡ください。

EC適合宣言  
EC2006/95、EC2004/118、  
EC1992/31、EC1993/68

私達:

Saeco International Group  
Via Torretta , 240  
40041 GAGGIO MONTANO (BO)

弊社の責任の下、本製品を以下の製品と表示します:

エスプレッソコーヒーマシン  
型式番号: SIN 026 XH

この宣言がどれと関連しているかは以下の標準または他の標準の文書に準拠している:

- 家族と電気の器具--一般的な要件--、EN60335-1(2002年) + A1(2004年) + A2(2006年) + A11(2004年) + A12(2006年)の安全
- 家族と電気の器具--パート2-15--(加熱液体のための器具のための特定の要件)の安全 - EN 60335-2-15(2002年) + A1(2005年)
- 家族の、そして同様な電気器具--電磁界--(評価と測定のための方法) EN 50366 (2003年) + A1 (2006年).
- 電磁気の互換性(EMC)--家電製品、電動工具、および同様な装置のための要件--パート1排出 EN55014-1(2000年)+ A1(2001年)+ A2(2002年)。
- 電磁気の互換性(EMC) - 離別しなさい。3 限界 - セクション2: 調和的な現在の排出のための限界(機器入力電流? (フェーズのための16A) - EN 61000-3-2 (2000年)
- 電磁気の互換性(EMC)  
パート3^: 限界 - セクション3: 公的な最低水準の電圧変化、電圧変動、およびちらつきの制限 - 定格電流との機器のための電圧供給システム? 16 条件付きの接続への主題ではなくフェーズのためのA EN 61000-3-3 (1995年) + A1 (2001年)
- 電磁気の互換性--家電製品、電動工具、および同様な装置のための要件--、パート2。免疫 - 製品群標準 EN55014-2(1997年)+ A1(2001年)

指令の供給に続く:

EC73/23、EC89/336、EC92/31、EC93/68。

Gaggio Montano 05/07/2006

R&D  
Ing. Andrea Castellani  




Type Sin026XH

Cod. 15001191 Rev.00 15-07-07



Saeco International Group S.p.A. Via Torretta, 240 - 40041 Gaggio Montano  
Bologna - Italy - Tel. +39 0534.771.111 - Fax. +39 0534.31025  
<http://www.saeco.com>